

## 原料費調整制度に基づく都市ガス料金単価の調整について ( 2021年2月 検針分 )

2020年9月～2020年11月のLNG及びLPGの貿易統計値が発表されました。  
原料費調整制度に基づき、基準単位料金を調整させていただきます。

2021年2月 検針分の単位料金は、2021年1月 検針分 に比べて、1m<sup>3</sup>(45MJ)当り  
+ 0.65 円(消費税込)、標準家庭(26m<sup>3</sup>)では月額 + 17 円の調整を行うこととなりました。

### ●一般ガス供給約款料金における調整単位料金

(消費税込)

	単位	2021年1月 (A)	2021年2月 (B)	(B)-(A)
A料金表 (0m <sup>3</sup> ～24m <sup>3</sup> )	円/m <sup>3</sup>	209.71	210.36	0.65
B料金表 (24m <sup>3</sup> を超える)	円/m <sup>3</sup>	150.65	151.30	0.65

### ●平均原料価格

	単位	2020年8月 ～ 2020年10月	2020年9月 ～ 2020年11月	基準平均原料価格
LNG平均価格 (貿易統計値)	円/トン	31,500	32,140	
LPG平均価格 (貿易統計値)	円/トン	40,010	41,940	
平均原料価格	円/トン	32,060	32,770	46,100

平均原料価格 = LNG平均価格 × 0.9541 + LPG平均価格 × 0.0502

(10円未満端数四捨五入)

$$\begin{aligned} \text{原料価格変動額} &= \text{基準平均原料価格} - \text{平均原料価格} && (\text{平均原料価格が基準平均原料価格未満のとき}) \\ &= 46,100 - 32,770 && = 13,300 \text{ 円/トン} \\ &&& (100円未満端数切捨て) \end{aligned}$$

### ●調整単位料金の算定

平均原料価格が基準平均原料価格未満のとき

$$\text{調整単位料金} = \text{基準単位料金} - 0.084 \times \text{原料価格変動額} \div 100 \text{円} \times (1 + \text{消費税率}) \quad (\text{小数点第3位以下の端数切捨て})$$

	単位	(A) 基準単位料金	(B) 2021年2月 検針分 調整単位料金	調整額 (B)-(A)
A料金表 (0m <sup>3</sup> ～24m <sup>3</sup> )	円/m <sup>3</sup>	222.65	210.36	▲ 12.29
B料金表 (24m <sup>3</sup> を超える)	円/m <sup>3</sup>	163.59	151.30	▲ 12.29

### ●標準家庭のご使用例(1ヶ月分)

1ヶ月分使用量(m <sup>3</sup> )	(A) 2021年1月	(B) 2021年2月	影響額 (B)-(A)
26	6,087	6,104	17

計算式・・・基本料金(税込) + 調整単位料金(税込) × 使用量 (1円未満の端数は切り捨て)